

第20回レファレンス協同データベース事業フォーラム  
**生成 AI はレファレンスサービスに  
何をもたらすか**

2月20日、オンライン開催のお知らせ

国立国会図書館は、全国の図書館に寄せられた質問と回答の記録など、調べものに役立つ情報を収録した「レファレンス協同データベース」（レファ協）を運営し、インターネット上で公開しています。また、レファ協事業の更なる普及・発展に資するため、事業に関する意見交換の場であるフォーラムを毎年開催しています。今年度のフォーラムは、「生成 AI はレファレンスサービスに何をもたらすか」と題し、生成 AI 関連技術の発展がレファレンスサービスへどのような影響をもたらすのかをテーマに開催します。

日常的に生成 AI が利用されるようになり、図書館のレファレンスサービスにも影響が生じつつあります。本フォーラムでは、識者の方々に、図書館やレファレンスサービスと生成 AI の関わりについてお話しいただき、生成 AI 時代のレファ協やレファレンスサービスの意義を考えます。

本フォーラムは、Web 会議システムを使用し、オンライン形式で実施します。レファ協及び本フォーラムのテーマにご関心のあるすべての方のご参加をお待ちしております。

日時：令和7年2月20日（木）13時30分～16時35分

開催方法：Web 会議システム（Microsoft Teams ウェビナー）を使用して国立国会図書館関西館からオンライン中継します。

参加費：無料

参加対象：どなたでもご参加いただけます。

申込方法：下記 URL にて詳細をご確認の上、ページ内のリンクからお申し込みください。

URL：[https://crd.ndl.go.jp/jp/about/forum/r6\\_20.html](https://crd.ndl.go.jp/jp/about/forum/r6_20.html)



**お問合せ先** 国立国会図書館 関西館 図書館協力課 協力ネットワーク係

Tel：0774-98-1475（直通） / Fax：0774-94-9117 / E-Mail：[info-crd@ndl.go.jp](mailto:info-crd@ndl.go.jp)

○フォーラムを取材される場合は、事前にご連絡をお願いいたします。

## プログラム（敬称略）

### 講演

「生成 AI とレファレンスサービス：変わること、変わらないこと」

あおの しょうた  
青野 正太（駿河台大学メディア情報学部助教）

「図書館のデータと自然言語処理」

こみや かなこ  
古宮 嘉那子（東京農工大学大学院工学研究院先端情報科学部門准教授）

「図書館業務での生成 AI 活用の可能性：AI 司書との対話」

たかはし ななこ  
高橋 菜奈子（新潟大学学術情報部長）

「大学図書館業務における生成 AI 活用の実態の紹介：活用に役立つ基礎知識やプログラミング支援事例について」

はしもと さとし  
橋本 郷史（東邦大学医学メディアセンター大橋病院図書室）

### 事務局報告

国立国会図書館関西館図書館協力課協力ネットワーク係

### フリートーク

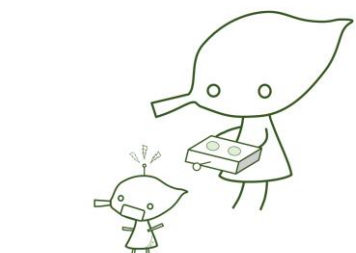
コーディネーター： いまい ふくじ  
今井 福司（白百合女子大学基礎教育センター准教授）

登壇者： 青野 正太、古宮 嘉那子、高橋 菜奈子、橋本 郷史、  
ひろた けい  
廣田 桂（レファ協事業企画協力員、熊本大学附属図書館）

※フォーラム終了後、参加者同士の交流を図るため、30分程度の交流会を行います（参加自由）。



レファレンス協同データベース



レファレンス協同データベース  
イメージキャラクター れはっち